



市保連 だより

2011
(7月)

〔第410号〕

平成23年7月1日発行
社団法人 熊本市保育園連盟
広報委員会
発行責任者 富永博文
〒860-0806 熊本市花畑町3-1
熊本市花畑別館3F
TEL (096) 322-0096
委員長 清永 ヤヨヒ
委員 村上 恵 逸
委員 稲垣 昇
委員 川口 延 子
委員 石井 福 栄
委員 角 奈 二郎



理事会

子どもたちにもっと自然と触れ合う機会を！

立田山野外保育センター雑草の森 センター長 藤井由幸

立田山野外保育センター雑草の森のセンター長に就いて2年目を迎えることができました。

この間、雑草の森の管理運営にご尽力いただいた運営委員の先生方、わんぱくまつりや清掃活動にご協力いただいた保育士の先生方、宿泊や日帰り利用の保育園の皆様方に心からお礼申し上げます。

さて、立田山野外保育センターは、その名のとおり、「立田山」という豊かな自然環境の中で、「野外」活動をメインとした「保育」を行う場、更にはそのような野外活動、保育活動を普及促進する「センター」（中核施設）とすることができます。

言い換えれば、センターの使命は、第1に、この施設をご利用いただく保育園や幼稚園、子育てサークル等の団体に、安全で実り多い「野外保育」を実践できるよう施設管理や活動支援を行うこと。第2に、一般の子育て中のお父さんやお母さん、子育てサークル等の皆様にも野外活動や保育活動に関する情報提供や支援事業（公益活動）を行うことです。開設から10年目を迎え、更なる10年を展望する今、この使命を再確認する必要があります。

話は変わって、今日的課題である自然保護や環境保護、省資源や省エネ生活を子ども達にどう理解させ、伝えたらよいか・・・私なりの考えを述べてみたいと思います。

自然や環境を護りたいという気持ちは、豊かで恵まれた自然や環境が「心地よい」という気持ち＝体験から生まれてくるものです。だからこそ、子ども達に、身近な自然の中で遊ぶ体験、自然と触れあう機会を与えてあげたいのです。斜面や樹木に登る、バッタやチョウを追いかけ

る、モグラの穴を掘る、野鳥の声に耳を澄ます、ドングリを拾う、クローバーの首飾りを作る、タンポポの綿毛を吹く。そんな幼児期のありきたりの体験や機会＝記憶の中から、必ず「こんな豊かで恵まれた自然や環境を残したい、護りたい」という気持ちが生まれてくる。そして、このような自然や環境を護るためには、資源を大切にし、省エネに心がける必要があると気付いてくれるはずだと確信しています。

雑草の森のみならず立田山全体がそのような野外活動、保育活動の格好の場です。

が、ちょっとした工夫や仕掛けも必要でしょう。つまりずっと危ない石や木の根、枯れ木を取除くにも、殺虫剤をまいてケムシやムカデを退治するにも限界があります。熱中症も心配です。そこでセンター職員がこれ等の危険や対処法に関する情報を積極的に提供することが大切になります。

また、自然の中に放り込まれて「戸惑う」子ども達も多いはずですが、ネイチャーゲームや自然観察などを通して、自然との触れあい方、野外活動の楽しさを伝えることができれば最高です。

子ども達が帰った後、芝生の片隅に「積み重ねた小枝や小石の山」を見つけると嬉しくなります。

今後とも、子ども達がもっともっと自然と遊び、自然と触れあえる「雑草の森」となるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。





保育士会

保育士として思うこと

帯山のぎく保育園 保育士 中村 香織

大学を卒業し、保育士として働き始め、4年目の春を迎えました。最初の1～2年は、何もかもが初めてで、驚くほどあっという間に過ぎ去ったように思います。園行事はもちろん、他園との交流や研修会、そして何より子ども達や保護者の方々の個人情報をお預かり密に接していく事など、貴重な経験をさせていただいています。

ところで、保育園で働く中で感じますことは、子どもがよりよく成長していくためには保育環境を整えることが大切であるということです。子ども達はみんな純心で、キラキラした瞳で私達大人を見つめ、大人が与えた環境の中で生きていきます。一人一人に合う環境はそれぞれ違いますが、個性を伸ばし、のびのびと育つ環境づくりが、保育



士の大切な役割の一つだと思っています。

また、乳幼児期は、人格形成の基礎が培われる大事な時期でもあります。保育園に通っている乳幼児は、起きている時間のほとんどを家族と離れて過ごしていますが、どの子もたくましく、精一杯生きようとしています。そんな子ども達を見ていると、保育士は、子育ての貴重な一端を担っているだけでなく、責任の大きな仕事であると思います。

しかし、このように貴重な役割を担っているにもかかわらず、保育士の社会的認識はまだまだ低いように感じています。子どもと共に大切な時期を過ごす者として、保育士の役割や乳幼児期の大切さを働く現場からもっと発信しなければと考えているところです。



調理師会

滋味で美味しい給食を目指して！

さくらんぼ保育園 栄養士 魚住 真紀子

認可保育園になって5年目を迎えたさくらんぼ保育園は、動植物園も近くにあり、園庭下に広がる江津湖周辺の恵まれた環境の中で、のびのび遊ぶことを保育の柱にしています。

厳しい社会状況のもとで育つ今の子ども達にとっての給食は、とても大切であるという思いのもと、昨年4月から主食の白米を完全無農薬の玄米に変えました。玄米を圧力釜で炊くともちもちしていて、しっかり噛むと米本来の甘みを味わえます。噛むことが少なくなっている子ども達は、最初食べるのに苦労していましたが、手作りのふりかけや昆布の佃煮などを加えることで食べることに慣れ、最近ではおかわりに来るようになりました。

食育の取り組みの一環として、野菜くずや生ゴミに米ぬかやEM菌を混ぜて土づくりをし、野菜を植えています。そして収穫した野菜でクッキングを楽しんでいます。又、毎日の給食には、

生産者から届く有機野菜と園でとれた野菜を使って、和食中心の献立にしています。当日か前日に収穫したものが使えるので、なるべくシンプルな料理（和え物、菜焼き、金平、煮しめ等今の家庭の食卓に並ばないようなもの）にして、子ども達に野菜本来の匂や噛んだときの感触や甘みを感じて欲しいと思っています。



毎日遠くから届けてくださる生産者の農地を見学する等交流もしてきましたので、今年の秋祭りバザーでは、野菜やだご汁の販売をされ、園児や保護者、地域の方々にも喜んでいただきました。

これからも子ども達の体と心が育つこの乳幼児期に、滋味で美味しい給食を作っていきたいと思っています。



園長会

育ての心で見守り保育

黒髪幼愛園 園長 清 永 ヤヨヒ

本園にご縁を頂いて6年目になりました。

日々、乳幼児の心身の発達過程を目の当たりにしています。「昨日」の子どもたちとは違う「今日」の子どもたち。「ほんの少し前」とも確実に違う子どもたち。一步一步の積み重ねの中で、過去、現在、未来へと続き伸びていく姿に、子ども自身が成長していく喜びで満たされていくのが見えます。

保育とは、『子どもが、人として生きていく道に寄り添い、その生き方に共感し、生きるための力を引き出していく営み』だといわれます。

乳幼児期は、社会性や道徳性などの人間性に関わる資質が芽生える時期です。この時期、保育者は、先回りして言葉で教えるのではなく、子どもが自ら学び獲得していくように、生活や遊びの環境を用意し、育ての心で見守っていくことが大切になります。

児童心理学者である倉橋惣三の著書「育ての心」(昭和22年初版)の序文に次のように書かれています。『自ら育つものを育たせようとする心。それが育ての心である。…中略…育つものと育てるものとの、互いの結びつきに於いて相楽しんでいる心である。…中略…それにしても、育ての心は相手を育てるばかりではない。それによって自分も育てられてゆくのである。我が子を育てて自ら育つ親、子等の心を育てて自らの心も育つ教育者。…後略…』と。



子どもが初めて立った瞬間、初めて歩いたときなど、たくさんの初めてに出合います。親も保育者もその姿に感動したり、同時に、幸福を感じたりしています。園での温もりのある日々が心身の豊かな成長に繋がるようにと願っています。

7月の予定

会合	担当年齢	日	時間	会場	研修内容
年齢別研修会	0,1歳児	26(火)	14:00 ~17:00	崇城大学 市民ホール	講師：こずえ保育園 園長 福嶋 由美子氏
	1歳児	20(水)	14:00 ~17:00	国際交流会館	講師：ひまわり保育園 副園長 大滝 喜和子氏
	2歳児	8(金)	14:00 ~17:00	国際交流会館	講師：小山保育園 主任保育士 草野 八千代氏
	3歳児	14(木)	14:00 ~17:00	国際交流会館	講師：あゆみ保育園 主任保育士 田中 昭子氏
	4,5歳児	13(水)	14:00 ~17:00	国際交流会館	講師：元ひまわり保育園園長 長井 解子氏
ブ調 口理 ツ師 ク別 研修 会	東 部	14(木)	14:00 ~17:00	常磐学園	調理実習・講話 講師：常盤学園 園田 修一氏
	西 部	14(木)	14:00 ~17:00	西部市民センター	各園持ち寄り調理実習(藤崎台・皇口みのり・白羊保育園)
	南 部	14(木)	14:00 ~17:00	雁回館	調理実習 講師：森永乳業 早坂 しのぶ氏
	北 部	14(木)	14:00 ~17:00	清水市民センター	各園持ち寄り調理実習(友愛会・あゆみ・瑩光保育園)
	中 央	14(木)	14:00 ~17:00	イリス熊本	調理実習(実演試食)スチコンを使った料理 講師：ホシザキ
新任職員保育士 研修会(中期)	5(火)	14:00 ~17:00	国際交流会館 4F第3会議室	「子どもと楽しむ絵本の読み聞かせ」 講師：おひさまおはなし会 代表 永吉 由美子氏	
理 事 会	12(火)	14:00 ~17:00	国際交流会館 3F	国際会議室	
園 長 会	21(木)	14:00 ~17:00	崇城大学市民ホール	大会議室	

《FAX番号変更のお知らせ》

- ◆ ひばり保育園 ◆ 096-365-3228
- ◆ 飽田東保育園 ◆ 096-223-5013
- ◆ 熊本すみれ保育園 ◆ 096-335-7274
- ◆ ぎんなん保育園 ◆ 096-381-6223
- ◆ 愛光幼児園 ◆ 096-243-1101

ご結婚おめでとうございます

- 川尻保育園 3月21日 保育士 中島 絵理(旧姓 西川)
- さくらんぼ保育園 5月29日 保育士 世良 明子(旧姓 建川)
- きよめ保育園 6月18日 保育士 上塚 彩(旧姓 宮津)
- 城山保育園 7月3日 保育士 緒方 詩織(旧姓 村上)
- 木の葉保育園 7月3日 保育士 石山 結貴(旧姓 田山)

平成23年度 保育研究大会

永年勤続表彰

平成23年5月21日(土) 於 熊本テルサ

表彰を受けられた先生方
おめでとうございます。
これからも一層のご活躍を!



熊本市保育園連盟 富永博文理事長挨拶



来賓祝辞 熊本市長 幸山政史様



永年勤続表彰



受賞者 今年度は31名



講演会
演題 「これからの保育」
講師 生活保育研究会
代表 本吉 圓子様



受賞者代表の謝辞